令和元年十月五日　光友会

神　示

人間は皆　世に役立つ運命を与えられて　誕生している
よって　「運命」の力を知り
　その力を引き出すすべを知って　「生きる」ことが必要
なれど　知識を絶対　真実と思い込み
　努力が全ての夢をかなえると考える
ここに　「運命」に重なる人生が歩めず
　自らの存在を生かせずにいる
「教え」をなぜ学ぶのか　その訳を考えてごらん
神が使者を通し　社会に示す「教え」は　全て「真理」
「人生」を磨き　社会で役立つ存在になるために
　必要な悟り「真理」
なぜ　「人生」に生きがいが持てず
　世をはかなむ人々が生まれるのか
社会に問題があるのではない
あるべき「人生」　心の姿が分からずに
　人　物との出会いが生かせない
「人生の真理」が見えないだけ
「教え」に悟りを得る人々は皆
　「運命」の力をもって社会に役立つ人生を歩む
社会を「正道」へと導く人になるために
　今こそ「教え」を「人生」の支えに「生きる」時